

---

# 俺の両親

悦威カイ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺の両親

### 【Nコード】

N5561V

### 【作者名】

悦威カイ

### 【あらすじ】

俺は悪くないよねええええ！！？？

黒羽さんちの息子さんのお話

黒羽くろは 叶かなう

芸能人やってます。

これからちよつと昔の話をします。

「…叶。あの話は本当？」

俺の母さん。青子は言った。

「沖野ヨーコの娘にに手を出したって…!!!!」

パンツと俺の目の前に、とある週刊誌を出す。

見出しは『警視庁警視の孫の淫らな生活』

と大きく出ている、捕捉で『お相手はあの沖野ヨーコの娘』

と書いてある。

「あんだねえ!!!!やっていいことと悪いことの区別がつかないの  
!?!」

「……いや食事に行っただけだし」

「大体の日とはそういうのよ!!」

セットなの!!ハッピーセットみたいなもん!!」

「あゝ三枚つけて、半額!!みたいな」

「そうそう、超お買い得!!…じゃなくて!!…」

バシン!!と、机を叩く音。

「母さん、手痛くない?」

「そうじゃないの!!」

その気遣いにツッコム母さん。

「あんたのせいで、お父さんも悪く書かれてるのよ!?!」

「いや、それ俺のせいじゃないし。」

「似たようなもんなの!!」

そう母さんが言ったところで、父さん。

マジシャンの黒羽 快斗がなだめに入った。

「まあまあ、青子。叶も年頃の男の子だし?」

「そうは言っても、この子は一応芸能人でしょう!?!」

「たまたま相手が悪くて、ばれちゃったと言っただけで…」

「ばれなきゃいいってもんじゃないでしょう!」

「まあ、叶も反省してるし…誤解も解けたでしょう?」

「う〜…」

あ、逃げよう。叶は思った。

「そんな眉間にしわ寄せると、本当にしわになるよ?」

「むう……………」

「ね、叶うのせいで可愛い青子にしわが出来たらヤダよ。俺」

「快斗……………」

以下自主規制。

【と、イチャイチャイチャイチャ……  
そんなんで、俺が誰と付き合おうかなんて叱れないですよね！！先  
生！！】

【先生は、沖野ヨーコの娘のファンでした。よって罰としてトイレ  
掃除を命ずる】

「…何でええええ！！！！！」

叶がそう叫んだ。

「叶ってバカやる。」

と、西の探偵の息子、和志かずしは言った。

「…やっちまったって感じだよな。頑張れ。」

そう東の探偵の息子、河南かなんは続けた。

「連帯責任で、お前らにもやらせるって書いてあるぞ！！  
ってちよつと待てえええ！！！！！」

【先生達の夢を壊したことにより、再提出も命ずる。担任】



(後書き)

この後、オツチャンからも抗議を受けたそうです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5561v/>

---

俺の両親

2011年8月7日10時02分発行